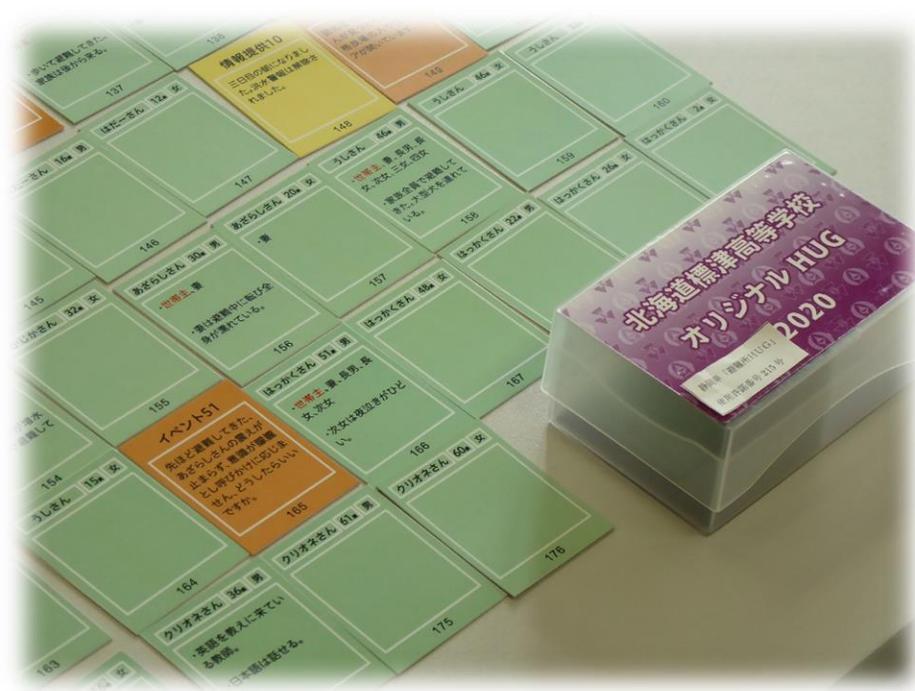


標津から発信する防災・減災

～高校生防災リーダーとして私たちができること～

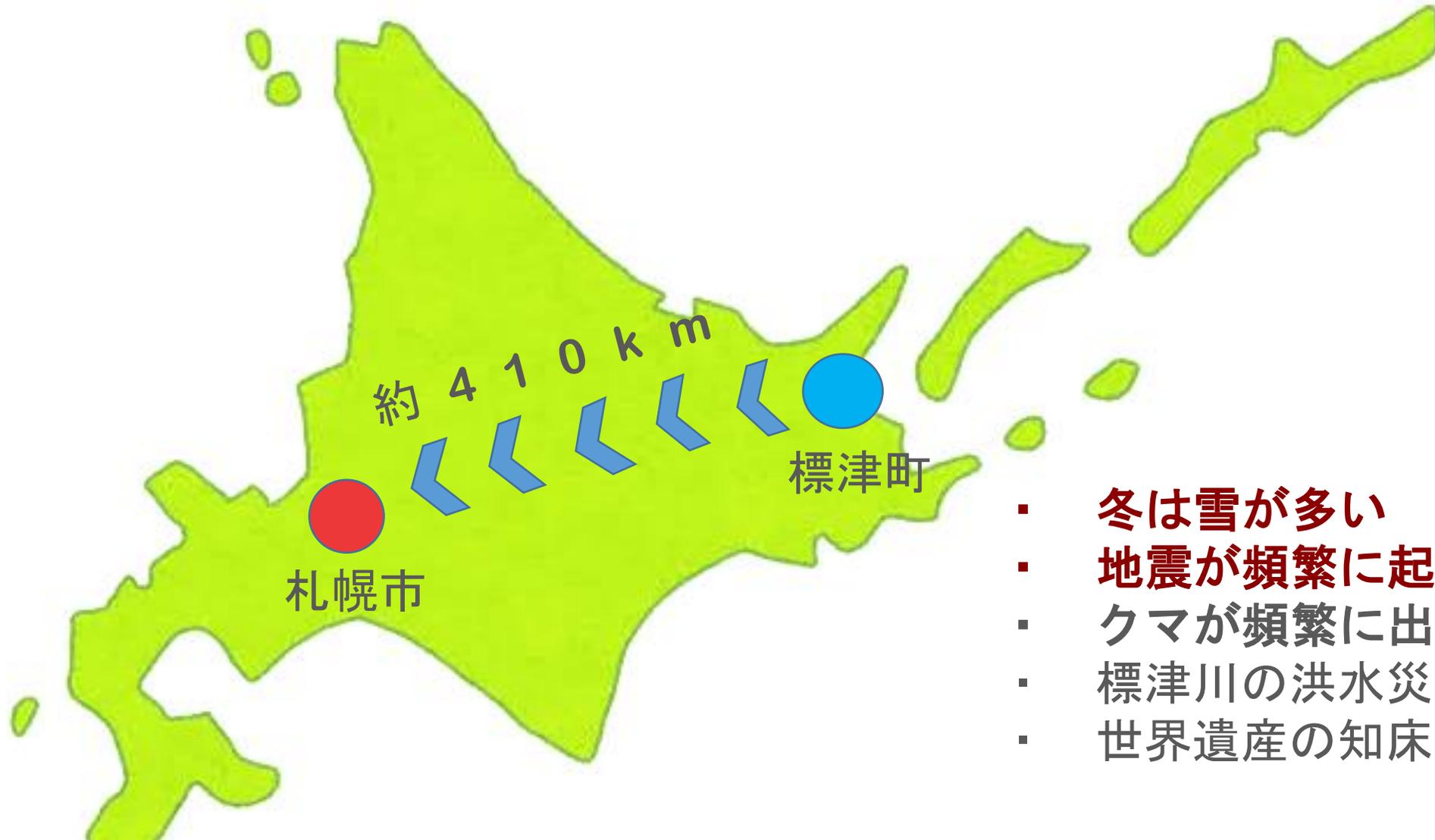


北海道標津高等学校

目次

1. きっかけ
2. 今年度の目標
3. オリジナルHUGの詳細
4. 活動をやってみて感じたこと
5. 成果
6. 今後の夢
7. これからの活動・新しい取り組み

標津町について



- **冬は雪が多い**
- **地震が頻繁に起こる**
- **クマが頻繁に出没する**
- **標津川の洪水災害がある**
- **世界遺産の知床半島がある**

1. きっかけ

昨年の防災教育チャレンジ
プランを引き継ぎ、活動
を始める

今後の夢～高校生防災リーダーとしてのこれから～



- ◎ 小学生や中学生にも防災減災の大切さを伝えたい
- ✖ 他校の生徒と交流し、防災活動の幅を広げたい
- ◎ 地域住民とHUG→リアルHUG

2. 今年度の目標

- ① 標津町版オリジナルHUGを完成させる
- ② 地域住民とオリジナルHUG, リアルHUG、防災訓練を行う
- ③ 幼小中学校で防災に関する出前授業を行う
- ④ 他校の生徒会と交流して防災活動を広める

今年度の活動

- 8月 オリジナルHUG完成
- 10月 オリジナルHUG交流
(地域住民・PTAの方)
- 11月 12月 中学校、こども園に出前授業

協力団体

- 標津高校PTA
- 標津町役場 住民生活課 危機管理室
- 標津町教育委員会
- 標津町立標津中学校
- 標津町立標津認定こども園 あおぞら
- しべつ未来塾(標津町が運営する青年団体)

3. オリジナルHUGについて

■先輩たちから引き継ぎ、仕上げに着手



■コロナによる臨時休業で5月末まで作業がストップ

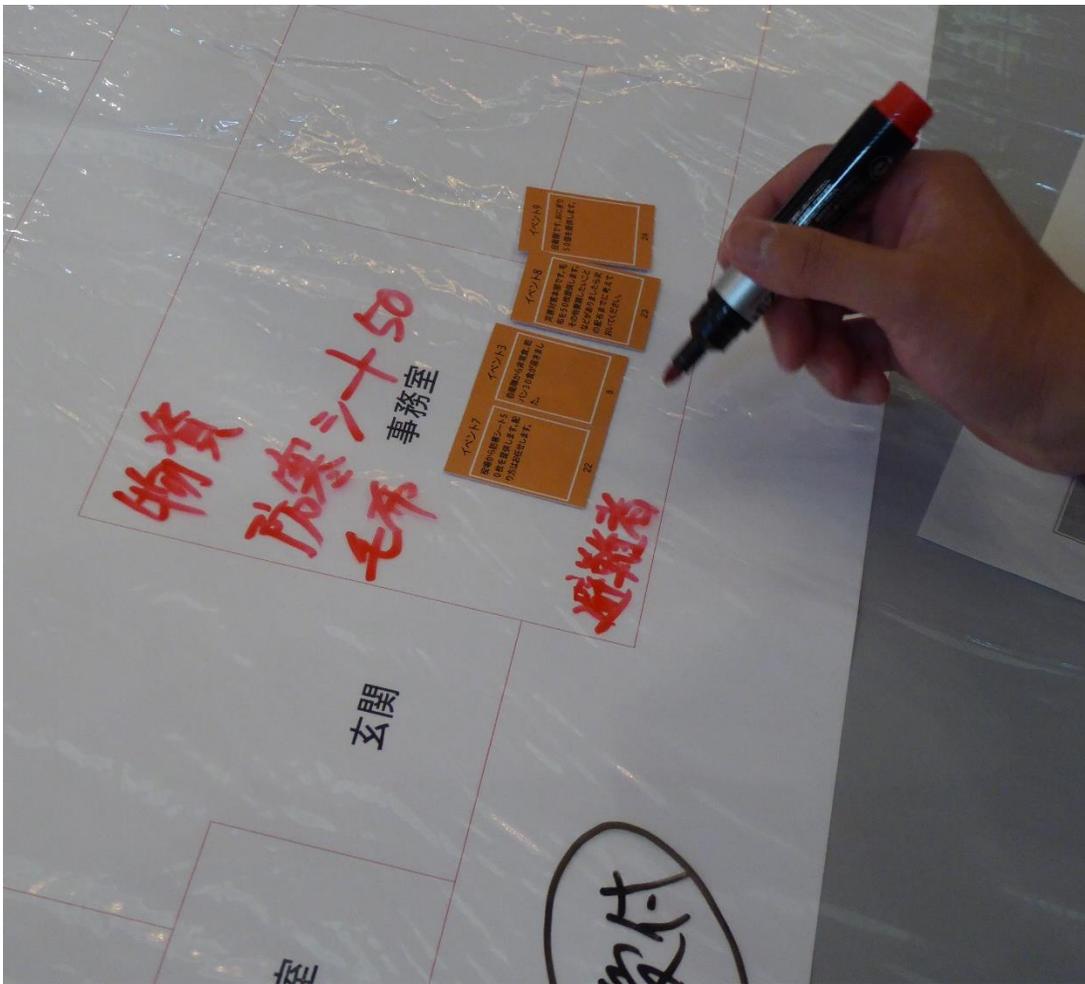


■学校再開後、急ピッチで作業、データベースの構築、点検



■8月に完成

オリジナルHUGの特徴



■ 自分たちの住んでいる地域に合った内容のHUGカードを作製



■ 融雪洪水に対応したHUG作り

- カード総数176枚
- ゲーム時間約1時間30分程度
- 校内図上のビニールシートに情報を書き込める。

オリジナルHUG 詳細

■ イベントカード 51枚

「クマの足跡がありました」

■ 情報提供 10枚

「外の気温は氷点下9℃、室温は氷点下3℃となりました。」

■ 住民カード 115枚

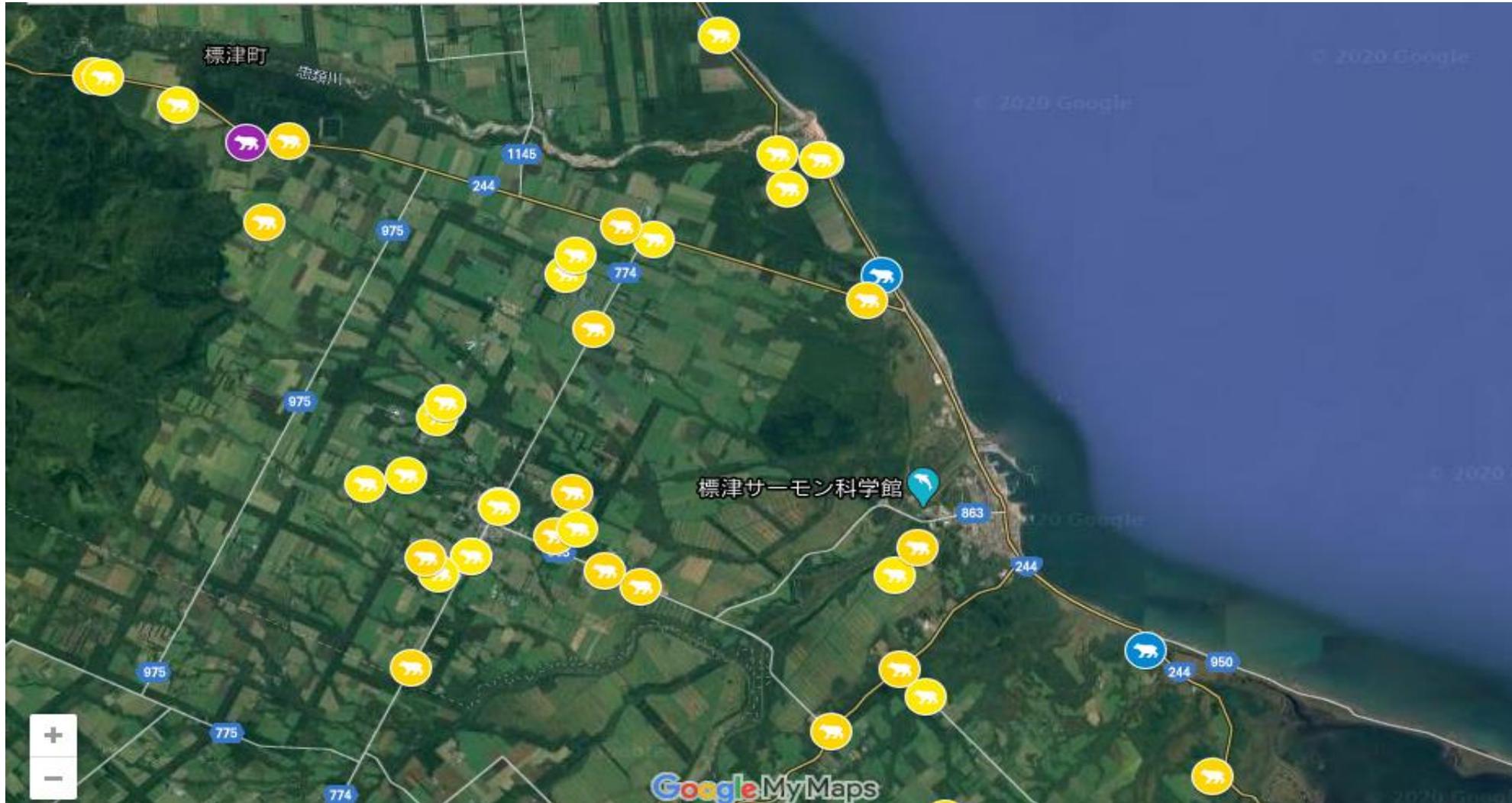
「ベトナム人実習生。同じ会社の実習生と避難してきた。
カタコトの日本語を話せる。」

※ コロナを受けて、感染症対策のカードを追加

例) 「感染予防のため換気をしてください。」



令和2年度 標津町 ヒグマ出没マップ



4. オリジナルHUGをやってみて…

- 自分達が思っているよりも出前授業の運営が難しかった
➡ 中学校へ出前授業を行い、**中学生ならではの**発想やアイデアを取り込むことができた。
- 全体的に普段から災害を意識して生活している人が少ないことに気が付いた。
➡ 私たちが出前授業などを行うことによって、災害や防災を考える時間が増えて防災意識がより高める時間を増やすことができた。



出前授業の反応（中学生の感想）

- HUGでは考える時間がありましたが、実際の現場では素早い判断が大切だと思いました。
- グループでやるゲームなので他の人と意見が違うところがあって面白かった。
- 最後に他の班のものを見たら、ものの配置が同じだったり違うところがあった。



出前授業の反応（中学生の感想）

- 中学生の私たちにでもできることは少なくないと思いました。
- 災害への備えをしっかりとしていきたいと思いました。
- 今までの生活が優雅だったと思い、非常時のことなんて考えていませんでした。でも今回の防災教室で非常品を用意しておくのがベストだと思いました。



出前授業の反応（中学生の感想）

- 最初は緊張して自分から意見を言ことができませんでした
が、高校生の方がアシストしてくれて自分でも意見を言う
ことができました。
- 高校生の皆さんが人前で話すときも明るく、ハキハキと話し
ている姿を見て、すごいと思った。
- いつか標高生のように防災活動に取り組みたい
と思いました。



出前授業の反応(こども園の感想)

- ・○×ゲームが楽しかった
- ・ダンスがうまくできた

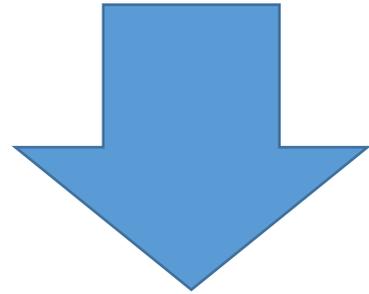


5. 成果

- ① オリジナルHUGの完成
- ② 地域住民とのつながり
- ③ 防災に関する学習の深化
コミュニケーション能力の向上

5. 成果

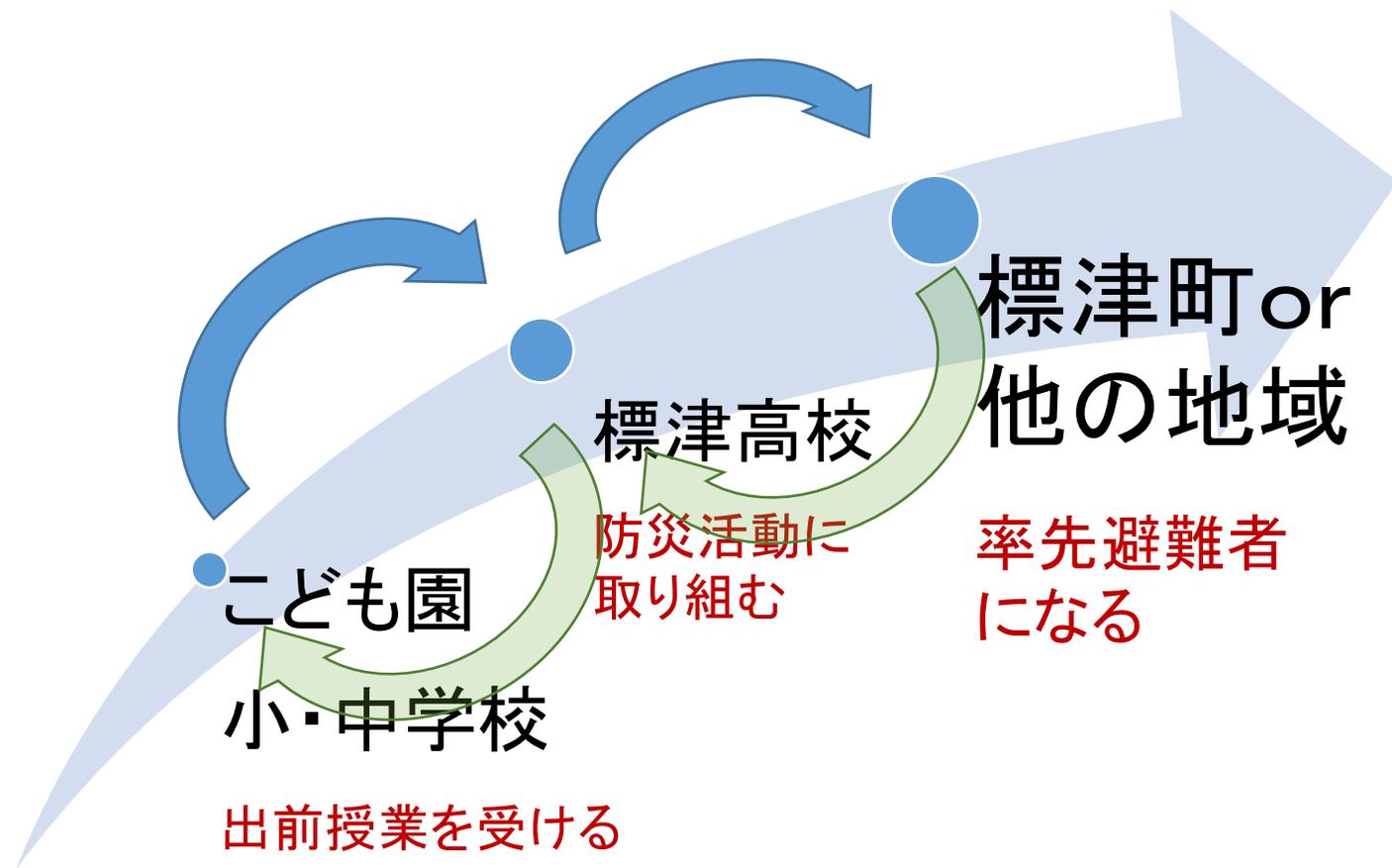
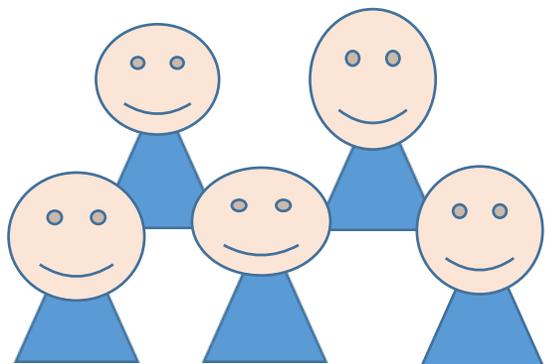
- ④「高校生防災リーダー」として活動を牽引する力
- ⑤ 標津高校の存在意義・活動のPR



高校生防災リーダーとして「町を守る」意識の向上

6. 今後の夢

出前授業を受けたこども達



7. 今後の活動・新しい取り組み

- ・HUGのアップグレード
- ・地域住民とのリアルHUG(他校との交流)
- ・防災出前授業に取り組む(こども園、小学校・中学校の学年に合わせた内容を作成)
 - ⇒一貫した防災教育の浸透
 - ⇒「地域循環型防災教育」の構築

7. 今後の活動・新しい取り組み

- 現地視察研修（震災遺構見学 等）
- 防災リーダーとしての仲間づくり・横のつながり
（情報交換できるネットワークづくり）⇒生徒会交流
- 防災教育を通じて行う、将来の進路選択に向けた
取り組み

ご清聴ありがとうございました